

## 普及現地情報

## 「兵庫N-1号」(ひょうごエヌワン®)の現地栽培について

朝来市ではひょうごエヌワンが栽培されているが、直売所では岩津ねぎの出荷が始まる11月23日までに販売を終える必要がある。調査の結果、対象圃場では11月上旬より多くのネギがひょうごエヌワンの販売規格目安※を満たし、岩津ねぎの出荷が始まるまでの直売所向けとして適していることが分かった。

## 背景

朝来市では直売所向けの品種として、「兵庫N-1号」(ひょうごエヌワン)が注目され、令和6年度は11名、令和7年度は10名が栽培している。当地は特産品として岩津ねぎが栽培されているが、解禁日以前に販売できる食味の良いネギとしてひょうごエヌワンの当地での有用性を確認した。

## 内容

本調査では、令和6年度に朝来市和田山町枚田にて生育調査と生産者への聴き取りを行った。

## 1 耕種概要

播種：4月25日 定植：6月17日 土寄せ：8月23日、9月20日、10月20日

収穫：11月1日～15日

## 2 調査内容

圃場内で生育が中庸な連続した20株を対象に調査した。10月15日時点で葉鞘径の平均は2.7cmであったが、調査対象のうち1割の株は葉鞘径2.0cmを下回るものが見られた。11月1

表 生育調査結果

調査日	地上部高 (cm)	株元葉鞘径 (cm)	葉数 (枚)
10月15日	53.0	2.7	4.5
11月1日	55.6	3.1	3.9

日の調査では葉鞘径の平均は3.1cmで、調査対象の20株すべてで葉鞘径2.0cmを上回った。収穫物は軟白長や生葉数についてもひょうごエヌワンの販売規格目安を満たすものが大半であったことから、同日より出荷を開始した(写真1、写真2)。

※ひょうごエヌワン販売規格目安 葉鞘径：2.0cm以上 軟白長：20cm以上 葉数：2.5枚以上



写真1 収穫物(調製前)



写真2 収穫物(調製後)

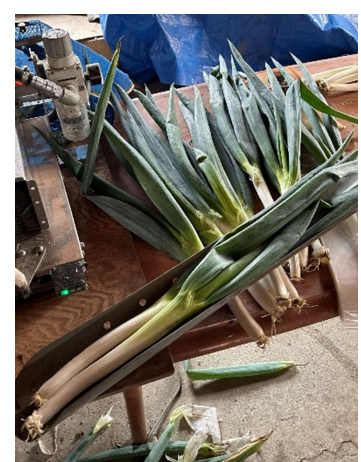


写真3 ドレンパイプを使った袋詰め作業

## 3 聴き取り内容

生産者からは、基本の栽培管理は慣行品種(岩津ねぎ)と大きく異なることはないが、土寄せ

のタイミングが若干異なることを把握して栽培する必要がある、と意見があった。また、葉身が広がっているので、袋詰めの際にはドレンパイプ（塩ビパイプ）を用いることで、葉身が袋に引っかかることを防ぎ、作業効率が上がることが分かった（写真3）。

#### 今後の方針

朝来地域でのひょうごエヌワン栽培について、11 月中旬に出荷規格目安を満たすネギに仕上がるということが分かったため、岩津ねぎより早期に出荷できる直売所向けとして利用を進める。

平井 健太郎（朝来農業改良普及センター）